

ほっかり いっぱい みさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和元年度 6月号

矢崎節夫さんと「ほっかり」

本校の合い言葉の「ほっかり」は、矢崎節夫さんの絵本「うしろのまきちゃん」に出てくる言葉を引用したという事を何度かお伝えしていますので、ご存じの方も多いかと思います。

始まりは平成13年、「ほっかり」の教育的意味づけをし、18年間取り組んできました。本校の合い言葉として浸透し、平成25年度から学校教育目標にもなりました。

矢崎さんが考える「ほっかり」とはどういうものか、直接伺ってみたくなり、何か方法はないかと探していたところ、矢崎さんが館長をなさっている「金子みすゞ記念館」(山口県長門市)のホームページにメールでメッセージを送ってみました。その後、矢崎さんご本人から本校に電話をいただき、お話する機会を得ました。

矢崎さんが考える「ほっかり」は、「温かくて、柔らかくて、幸せな感じ」とおっしゃいました。矢崎さんは、「ほっこり」という言葉は使わない、「ほっかり」の方が、「響いて、広がる感じ」がする、ともおっしゃっていました。「我が(校の)意を得たり」という思いがしました。

その折の電話で、ご来校いただいた講話をいただけるというお話に発展し、白羽小学校との共催も組み入れ、下記のような運びとなりました。

矢崎節夫さんは、児童文学作家でありながら、金子みすゞの作品に出会い、埋もれた多くの作品を発掘し、世に広めた研究者でもあります。講話・講演会は、童謡詩人:金子みすゞのお話が中心となります。
(文責 校長:植田)



1987年発行:以前2年生の国語の教科書に掲載されていた

矢崎節夫氏 講話・講演会

～令和元年7月5日（金）～

11:00～12:00 御前崎小学校 音楽室

◆5・6年生向け講話 ※保護者等参加可

「矢崎節夫さんから学ぶ 金子みすゞさんの魅力」

14:00～15:10 白羽小学校 体育館

◆保護者等向け講演会 ※学校職員も聴講

「みんなちがって、みんないいー金子みすゞさんのやさしいまなざしー」

御前崎小学校にて

12:35～12:55

1・2年生向け講話

12:55～13:15

3・4年生向け講話

も行います

保護者の皆様には既にお知らせしましたが、◆御前崎小学校での5・6年生向け講話と◆白羽小学校での保護者等向け講演会に保護者・家庭の皆様、地域の皆様、その関係者の皆様も参加が可能です。参加希望の方は、下記用紙を学校に届けてくださいか、FAX送信をお願いします。

御前崎小学校宛 [FAXの場合は0548-63-4336]

矢崎節夫氏 講話・講演会参加申し込み票 参加希望の番号に○をつけてください

- | | | |
|------------|------------|------|
| 1 講話(御前崎小) | 2 講演会(白羽小) | 3 両方 |
|------------|------------|------|

お名前() 連絡先 電話番号()
または関係児童(年)